



貧困地域への国際支援



今月のAIヌードル



●カンボジアで3店舗に成長した「リンガーハット」。AIヌードルにとって大口の顧客だが、納めているのはラーメンのみ。日本人担当者に挨拶する機会があり聞いてみたところ、ちゃんぽん麺、かた焼きそば、餃子は日本から冷凍輸入しているそう。カンボジア国内でも納得いくものができるなら現地調達も検討の余地があるとのこと。それぞれの麺のサンプルを渡し、餃子の皮を卸している店舗も紹介した。



諦めかけていた生そば製麺に光が

●名古屋で1987年創業し2店舗を開いている「そば処 桔梗」の社長から連絡をいただく。知人の紹介で昨夏に挨拶したことがある。「カンボジアでそばを手作りして売りたい」とのことで、技術提供していただく代わりにこちらの設備やスタッフ等の生産ラインを使わせてほしいという相談。AIヌードルでは、以前そばに挑戦したものの失敗し断念していた経緯と製麺機の仕様を説明したところ、材料さえ揃えばできるはずとの回答。4月下旬から5月上旬にかけて社長がプノンペンに来て、一緒に試作を行い、レシピを完成させることになった。もしうまくいけば、生そば製麺を開始できるかもしれない！

「仕事に困るカンボジアの若者に、働ける場所を」という思いから製麺所「AIヌードル」を2015年に設立し、活動を続けています。

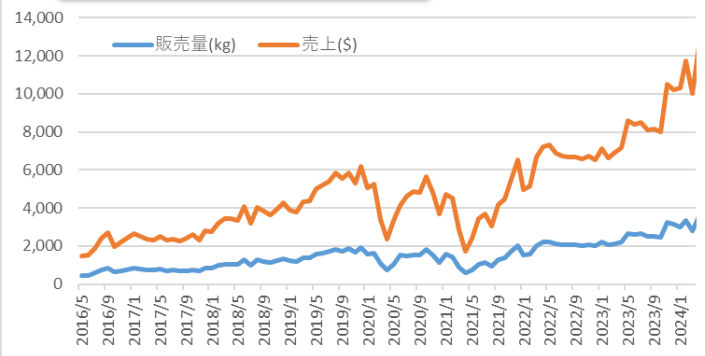


▲そば処桔梗のホームページ



▶リンガーハットのサンプル麺とちゃんぽん

AIヌードル 販売・売上推移



カンボジア絵本寄贈プロジェクト



歴史的背景から、いまだ教育制度が整っていないカンボジア。最近の若者の間ではデジタル化が急速に進み、携帯の普及率は高まる一方、書籍を読む文化は育まれていません。



そこで、現地で活動する（一社）ソーシャルコンパスと共同で、子供たちに絵本を贈る活動を実施。印刷費の支援をした1,000冊の絵本は、フリースクールや孤児院等を訪問した際や、イベント開催時にもプレゼントしています。



エコキャップでのワクチン支援

皆さまに集めていただいたキャップは障害者施設で洗浄され、売却後の寄付金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて途上国に送られます。

今回の回収キャップ (2024/3/26分)

重量	換算寄付額
27.28 kg	273 円
ポリオワクチン	Co2削減量
約 13.64 人分	85.93 kg
これまでの合計	
総重量	14.2 t

今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

「SDGsスマイルプロジェクト」は、施設等に設置している飲料自動販売機の収益を活動資金とした取組です。このプロジェクトでは、国内外の貧困問題・社会問題に利用者様と職員が力を合わせてアクションを起こしています。

